

第3号様式

令和6年度 第4回 高根台公民館運営審議会会議録

- 1 開催日時 令和6年12月18日(水) 午後1時33分～午後3時21分
- 2 開催場所 高根台公民館 4階 第4集会室
- 3 出席者
 - (1) 委員 今野委員長 丹羽副委員長、則松委員、松本委員、中澤委員、長濱委員、小原委員
 - (2) 事務局 高根台公民館長、夏見公民館長、高根公民館長、新高根公民館長、高根台公民館館長補佐
- 4 欠席者 なし
- 5 議題
「公開」
 - (1) 事業報告 (9月18日～12月17日)
 - (2) 事業計画 (12月18日～3月31日)
- 6 傍聴人 なし
- 7 決定事項
「公開」
 - (1) 事業報告 (9月18日～12月17日)
 - (2) 事業計画 (12月18日～3月31日)
- 8 議事 次ページ
- 9 資料・特記事項
次回 令和7年3月19日(水) 午後1時30分から
高根台公民館 4階 第4集会室にて開催予定
- 10 問合せ先 高根台公民館 電話 047-461-7061

令和6年度 第4回 高根台公民館運営審議会
議事録

日	時	令和6年12月18日(水)
		午後1時33分～3時21分
会	場	高根台公民館 4階 第4集会室

午後1時33分 開会

○事務局（高根台公民館長補佐）

ただいまから、令和6年度第4回高根台公民館運営審議会を開催いたします。

本日の欠席委員はございません。よって、船橋市公民館条例施行規則第15条第3項の規定によりまして、当審議会は成立いたします。

また、会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第26条及び船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開となります。

なお、本日傍聴人はおりません。

それでは議事に入りますが、議事の進行につきましては、船橋市公民館条例施行規則第15条第2項の規定により、委員長が議長となります。今野委員長、議事進行をよろしくお願いいたします。

○今野委員長

それでは、次第に沿いまして議事に入ります。

各公民館からの事業報告を高根台公民館からよろしくお願ひいたします。

○高根台公民館長

高根台公民館、館長の松田でございます。よろしくお願ひいたします。

9月18日～12月17日までの事業報告について、順次ご説明いたします。高根台公民館からは、事業数が多いため、主な事業及び参加人数が記載されていない事業を中心にご説明させていただきます。

まずは青少年事業、「ふなばしハッピーサタデー事業」の11月16日、「子ども料理教室」では、のりとご飯、山ごぼう等を使って、パンダの飾り巻き寿司をつくりました。包丁を使う教室で、小学校低学年のお子さんも参加するため、安全を考慮し、各テーブルに職員を配置して実施となりました。子供たちはかわいいパンダをつくろうと真剣に取り組んでおり、包丁で切って、パンダの顔がくっきり表れると、ご家族に見せるためお弁当箱にうれしそうに詰めていました。

次の、12月14日、参加人数の記入をお願いいたします。男3人、女18人、計21人となります。

続きまして、「小学生の公民館サークル体験学習」です。高根台第三小の3年生が6つのサークルに入って、3日間体験してもらうものです。今年は新たな試みとして、保護者の方にも見ていただこうと、最終日に活動している様子を見学会と舞台での発表会を行いました。発表会では保護者の方が20名以上集まり、子供たちの踊りや演奏を熱心にスマホで撮影しておりました。また、同級生たちも練習の成果を発表する友達の姿に、「カッコいいよ」「すてき！」と声援を送るなど、盛り上がった発表会となりました。来年度も同じ形で実施してまいります。12月11日の参加人数ですが、男31人、女20人、計51人となります。

続きまして、「職業講演会（高根台中学校）」です。中学生に対し様々な職種の方が、働

くことの楽しさ、厳しさをお話しし、進路選択の視野を広げてもらおうと企画しているものです。昨年に引き続き、10の職種の方を講師に招いて講演を行いました。生徒たちが熱心にメモを取りながら聞く姿に、講師の方々も気合いが入ったようで、持ち時間を超えてお話しする方もいらっしゃいました。また講師から、他の職業の話を聞いたことは大変有意義だったようで、「来年も講師をぜひやらせてほしい」との声が多く上がりました。来年度以降もこの形式で進めていければと思っております。

次の「親子和風づくり教室」をご覧ください。講師の先生が子供たちに分かりやすく丁寧に教えており、皆さん、竹や糸の取付位置に細心の注意を払いながら、日本の伝統的な本格的な和風をつくり上げていきました。参加人数を申し上げます。男7人、女17人、計24人です。

「空き部屋開放事業」の12月1日から17日までの参加人数ですが、男1人、女9人、計10人です。

次に、「高根台今日用と今日行く講座」です。神社仏閣の勸めをテーマにした4講座のうち、3回目と4回目になります。特に、10月8日の講座では、皆さんあまり接点のない文化財修復家の講師をお招きし、ふだん気にせずに見ている仏像のポーズの意味することを学びました。来年度も皆さんの知的好奇心をくすぐる内容を考えて開催してまいります。

「地域防災講座」をご覧ください。昨今の災害は、地震後の津波や異常気象による大雨、洪水が頻繁に起こること、そして、千葉県が海に囲まれていることなどから、海岸の災害をテーマに、国土交通省港湾・沿岸防災研究室長にご講演いただきました。高台にある高根台の土地柄か、参加者が少なくなりましたが、受講者からは、「貴重な話が聞けた」と好評でした。また非常用保存食のパンを配布したり、アルファ米の試食も行いました。来年度はテーマを練り直して、役立つ情報をお届けできたらと考えています。

ちなみに、現在、高根台公民館には、1月いっぱい賞味期限のアルファ米が100食分ございます。皆様の地区イベントで使いたい方がいらっしゃいましたら、お持ち帰りいただけたらと思っております。

次の「あなたの力を地域へ（リカレント教育講座）」ですが、人数が集まらず、こちらは中止となりました。リカレント教育は、専門学校や職業訓練校で学ぶイメージがあるので、公民館で行うのはなかなか難しいのですが、今後どのようなことができるか模索してまいります。

「シルバーリハビリ体操」、12月12日の参加者数です。男16人、女75人、計91人となります。

「サークル見学・体験会」をご覧ください。各公民館では独自に開催してきましたが、広報で一括して掲載できるメリット等を考慮し、今年度から、市内公民館全体で一斉に行うことになりました。高根台公民館では、41人の見学・体験者がいたことで効果はあったと考えますが、参加した54のサークルの中で16団体が見学・体験者0人となったことは、周知方法等、来年度は考えていく必要があると感じました。

続きまして、昨年度から模擬店、バザーも入れたフルバージョンで行っている「第28回たかね台公民館まつり」です。第28回の今回も天候がよく、2日間で、参加団体53団体、来場者約3,000人の方々に楽しんでいただきました。また今年度は、高根台中学校の生徒さんにボランティアとして参加していただき、会場への案内等、大活躍してもらいました。そして日頃の成果を発表される方、それを見に来られる方、皆さんが楽しそうにしている姿を見ると、公民館が地域の皆様に本当に愛されている場所だということがよく分かりました。来年度も、多くの皆さんに参加していただける公民館まつりを目指していきます。

また、共催事業も、「第20回福祉フェスティバル」、「高根台ハワイアンフェスティバル」、「和太鼓コンサート」と、昨年度に引き続き開催し、多くの方でにぎわっていました。内容は評価の部分をご覧いただければと思います。

最後に、全体的な所見を述べさせていただければ、9月から12月にかけて、小学生のサークル体験学習、職業講演会をはじめ、ボランティアとして、高根台中の生徒が参加した公民館まつり、そして、市船野球部と高根台中の生徒が参加した福祉フェスティバル等、子供と大人が一緒の空間で、気持ちを一つにして楽しみながら行った事業が多かったように感じます。このことは、今後の公民館の在り方、もっと大きく言えば、地域のこれからの在り方として、進めていくべき重要な事項ではないかと思っております。

高根台公民館からは、以上です。

○今野委員長

ありがとうございました。

次に、夏見公民館、お願いいたします。

○夏見公民館長

それでは、夏見公民館の9月18日～12月17日までの事業のうち、高根台同様、既存のもの省きつつ、ご説明させていただきます。

まず、青少年の「ふなばしハッピーサタデー」からのご報告です。10月5日から6日にかけて、八栄小学校宿泊体験会を実施しました。人数の訂正がございます。参加人数が、男60人、女65人、計125人になります。地域の一員としての自覚を促して、皆の日常が多くの見守りの中で成り立っていること、そして将来子供たちが地域を担う人材として育ててくれることを願い、昨年復活したものを今年も内容を拡充して行いました。1年生から3年生までは夕食の時間帯まで参加をしてもらい、4年生から6年生は一晚を体育館で過ごして、防災体験やレクリエーションを楽しみ、学び、市長もお越しになって、子供たちと保護者が協力してつくったカレーライスをおいしそうに食されていました。

次に、10月26日は、八栄小PTAバザー、「やさフェス」を、こちらも地域協働で開催いたしました。昨年同様に幅広い世代の方々が親交を深めました。開催日の設定は地域としての盛り上がりを期待しまして、今年度も公民会まつり発表の部の初日と同日といたしました。その相乗効果もあって、大変多くの方々が双方にお越しになっていただき、地域の熱意あふれる人々が集い、行事をつくり上げ、盛り上がる様子から、夏見地区の地域力を感じ

ました。

次に、11月17日は、青少年相談員中部ブロック初の合同事業、「わくわくフェスティバル」を開催しました。各所でマルチに活躍をされているパフォーマー、KeKeちゃんを迎えまして、子供たちは大道芸に驚き、自らも体験し、自分の隠れた才能に目覚めるお子さんたちもいらっしゃいました。そして名作絵本『はらぺこあおむし』、これを歌と踊りのパフォーマンスをしながら、子供たちも一緒になって体感することで、感性を思う存分に発揮してもらって、思い思いに楽しいひとときを過ごしてもらいました。KeKeちゃんには、次年度の寿大学で講師をお引き受けいただくことになり、高齢者たちに笑顔と活力を与えてくれるものと期待しています。

次に、「八栄小学校2年生『まち探検』」になります。小学校2年生で取り組まれる地域学習では、子供たちは自ら探検先に連絡を取って質問を準備して、インタビューを行います。その結果を大きな壁新聞にまとめて発表するのですが、私も子供たちからたくさんの素朴な、かわいらしい質問をもらいました。今年も交流を深めながら時々ハッとするような気づきもある質問もあって、大人、子供、双方にとって、大変意味のある行事だと感じております。この成果につきましては、昨年同様、今年も公民館まつりにおいて展示をしまして、大変多くの方々が感嘆の声、また喜びの声を上げていらっしゃいました。小原校長先生、ありがとうございました。

次に、「千葉の海辺・新聞コンクール（海と日本2024）」です。夏見の民話、『雪どけ塚の白へび』のアニメーション作品を題材にして、千葉日報の全面協力で、子供たちが民話にまつわる場所を巡って、新聞紙面になるまでを体験するコンテストが行われています。その一環として、当館で、地域をめぐってその歴史の背景を知るという講習会が開かれました。アニメーション上映の後には、文化課の考古学専門の職員から夏見の背景や歴史を学んで、探求心あふれる子供たちからは、本職の記者たちも驚く熱を帯びた質疑がありました。今後、コンテストの成果を当館事業に生かすなど、連携を深めていきたいと考えております。

続きまして、成人に移ります。ひまわり幼稚園及び八栄小学校の「家庭教育セミナー」の詳細につきましては、評価をご覧ください。今年度いずれも、現代の闇とも言えるようなネットリテラシーの欠如による問題や、正しい知識を的確に伝える難しさがある性教育など、大変重たい課題に挑戦していただきまして、見事やり遂げたことに深い感銘を覚えました。継続して取り組むべき課題との認識を学校、保護者とも共有しておりますので、公民館としてできることを考えながら、支援を積極的に図ってまいります。

次に、「就学時健診等における子育て学習」、高齢者、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」につきましては、既存の事業になりますので、割愛させていただきます。

次に、デジタルデバイド対策として実施する初心者向けのスマホ講座になります。まず、初心者の入り口となる講座は役割を終えたという議論が残念ながら一部ではありますけれども、参加者からは、繰り返し学べることへの感謝と、特に詐欺事案の多さから、セキュリティへの不安を持つ声が多く寄せられています。公民館だからこそ、気軽に参加できる入り口

をいつも開いておくのは、初心者の声に応えるためにも、とても大事なことだと考えておりますので、当館では、次年度以降も継続すべきと考えて、準備を進めております。

次に、「夏見寿大学」に移ります。12月12日の参加者をお伝えします。男17人、女56人、合計73人になります。今回も、本市にゆかりのある方として、10月は夏見の開業医、11月は夏見消防署、12月は本市で長らく活動する行政書士を講師として招き、いずれも地域色を反映した講演をしていただいて、参加者は、「親しみやすく知識を得られた」とお喜びでした。今後も夏見の特色として、人材の宝庫である地域にゆかりのある人々にこだわった講師を招きまして、不安や疑問を気軽に相談できる先を得る機会を提供してまいりたいと思います。

次に、「親子DEリトミック」は、既存事業なので割愛いたします。

「夏見地区福祉まつり」の実施詳細につきましては、評価をご覧ください。評価の後段にも記したのですが、当館をハブとしてつながる諸団体との関係をつくり続けてきた成果が、他の事業とともに目に見える形で広まってきたということを実感することが増えてまいりました。相互理解と尊重を育むことを共通認識として持ち、個々の団体の特色や社会的な役割を反映した事業を各団体に関わっていただくことで、地域に還元するというスタイルが形になってきたのではないかなと考えております。今後も、さらなる相互協力の広がりが得られるように、頑張りたいと思います。

続きまして、「シネマなつみ」につきましては、詳細は割愛させていただきますが、一つ大変危惧していることがございます。事業の継続が実はかなり困難な状況になっております。月に一度の上映会を楽しみに、多くの方々が足を運ぶようになっていただいて、温かな交流の場としての役割を担ってきたと自負しておりますけれども、無償貸出しを行ってきた市のライブラリーが、継続がいよいよ困難になりつつあるということで、この廃止も含めた検討がされていると耳にしております。

かつてあったような銀行や書籍関係を取り扱っている大手企業の無償のライブラリーもどんどん閉鎖をされていまして、予算化をして有償の貸出しを考えましても、1回当たりの上映会で安くとも8万円ほどの費用がかかることを考えますと、予算化は現実的ではありません。市のライブラリーの存続が、こういった形でもよいので、当館だけではなく、いろんなところでの活用がされていることを考えますと、存続してくれることを願ってやまない状況です。

続きまして、「夏見公民館まつり」の詳細につきましては、報告に記させていただいたとおりです。こちらでも毎年少しずつではありますがありますけれども、地域とのつながりと広がりを模索する形になったのではないかと考えております。公民館まつりは利用者の活動成果を発表する場ではあるのですが、さらには、公民館にとって、内外に広く考え方や方向性を示す貴重な機会でもあると考えております。公民館が末永く必要とされる存在であり続けることを願って、取り巻く課題を地域の皆とともに考え実行することで、公民館としての意義を果たしていきたいと考えております。

公民館報「なつみ」につきましては、既出の事業のため、割愛をさせていただきます。
夏見公民館からは、以上になります。

○今野委員長

ありがとうございました。

次に、高根公民館、お願いいたします。

○高根公民館長

高根公民館です。9月18日～12月17日までの事業報告をいたします。

まずは青少年事業からになります。「ふなばしハッピーサタデー事業」の各事業は、記載のとおりです。9月の「ダブルダッチに挑戦しよう！」は、金杉台児童ホームで行いました。2年前に講師として呼びました MeMento Mori という社会人ダブルダッチチームの方々の指導で、2本の縄を使っていろんな飛び方の技を体験いたしました。10月の「すぎっこハロウィン」は、今回は初めて金杉台児童ホームで行いました。当日は、迷路、マスクづくり、パネルシアター、ボディペイントなどを行い、たくさんの子供たちに楽しんでもらいました。11月のレザークラフトは、革のストラップに動物や果物などの刻印を打ちつけ、自分だけのストラップをつくりました。低学年の子供もいましたが、一人一人個性のある作品に仕上がっていました。

次に、「青少年向け卓球開放」ですが、10月5日は1名、親子での参加のみでした。青少年向け卓球の12月14日の人数を申し上げます。こちらは、残念ながら0人です。このため、毎年、卓球サークルの方を講師に子ども卓球教室を開催し、活性化に努めてまいります。

次に、「空き部屋開放事業」はお手元の資料のとおりです。常連はできましたが、利用度は低いです。12月1日の人数を申し上げます。こちら0人でございます。

続きまして、「高根公民館本館家庭教育セミナー」、10月はアンガーマネジメント講座です。急遽、講師が武田先生から鈴木先生に変更になりました。「明日からできる子どもに伝わる怒り方」を学びました。11月2日は、親子でアロマの石鹸とバスボム作り、11月30日は、親子で楽しむファミリーコンサートを行いました。

次に、「高根健康を考える講座」です。全2回、コリや痛みの予防について、ストレスとうまく向き合う方法を行いました。まずはストレスの原因や要因を考え、対処法を見つけて、うまく付き合っていくことが大切であると理解いたしました。その他、ストレッチや簡単マッサージなども行い、とても好評でございました。

次に、「就学時健診等における子育て学習」です。管区の3つの小学校がそれぞれテーマを決めて行いました。講師等は、お手元の資料に記載のとおりでございます。

続きまして、11月29日、「新春を迎えるしめ縄飾り」、洋風しめ縄づくりを行いました。こちらはかなりの人気で、申込み初日の午前中に既にいっぱいになってしまいました。同じ材料でも人によって違う作品が出来上がり、個性的な作品に仕上げることができました。

次に、「たかね手作り工房」です。今回の手作り工房は、つまみ細工というもので、初日はブローチを作成、2回目は正月用アレンジメントを作成いたしました。こちらは、ちりめ

んを使用し、花びらを一枚一枚つまんでいき、最後は、花びらを組み立てていきます。参加者の方は、初めは糊づけの仕方が非常に難しいようでしたが、講師が丁寧に教えてくださり、きれいなブローチを制作することができました。本日は現物をお持ちいたしました。これが、ブローチとつまみ細工の正月用のアレンジメントです。参加者の方は非常に喜んで一生懸命行うことができたので、大変好評でございました。12月13日の人数は男が0名、女が7名、合計7名の参加になります。

次に、「一般向け卓球開放」は引き続き行います。公民館は卓球のサークルが7団体あります。通常の活動の際に、開放したときの方々の口コミなどで広まって来てくださっております。

続きまして、「サークル見学・体験会」になります。サークル体験講座は、お手元の資料をご覧ください。今年度、10団体実施いたしました。各サークルで参加人数が非常に少なかったのですが、そのうち「健康吹き矢金杉」は、4名のうち2名が入会していただきました。そのほか、筆ペンの「ひまわりの会」も1名入会、「日本舞踊の会」も1名入会、計10団体で4名の入会がございました。引き続き来年度も体験をしていただいて、多くの方に入会していただきたいと思っております。

続きまして、高齢者事業になります。「高根寿大学」では、5回目から7回目を実施いたしました。10月は、「モノとココロの整理術～遺品整理人からのアドバイス～」と題しまして、生前整理の方法や効果、孤独死の要因、具体的な整理方法やアドバイスをいただき、参加者も、中には「これから家に帰って、家の中を見渡してみる」という方もいらっしゃいました。

11月は、詩吟教室で、詩吟の歴史や効用、呼吸方法を学びました。

12月は、恒例の高根中学校吹奏楽部、特に1年生と2年生、合計27名の吹奏楽部の学生さんにコンサートを開催していただきました。学校の都合で本来は水曜日に開催なのですが、授業があるため、この寿だけは土曜日の開催とさせていただきます。中には、おじいちゃん、おばあちゃんが孫の姿を一目見たいと、多くのご家族の方も参加していただいて、大変喜んでおりました。

次の、「スマホの使い方講座」です。参加人数が減ってきており、結果を踏まえて、次年度は、内容の検討も必要かと思っております。12月12日の人数を申し上げます。男が1名、女が7名で、合計8名になります。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、記載のとおりでございます。

その他事業になりますが、「ふれあいサロンほほえみ」、12月9日の人数を申し上げます。こちらは、男1、女18、合計19名でございます。

次に、「第45回たかね文化祭」です。2日間で来場者が1,047人ございました。昨年が1,040人でしたので、ほぼ横ばいです。舞台発表は新高根公民館が工事中ですので、新高根公民館の団体に事前に参加の可否を尋ねまして、2団体が出演いたしました。全部で10団体でございます。展示につきましては、8団体と昨年度と同数の団体でございます。模擬店は3

団体、ひまわり憩いの広場の会で作成しましたひまわり油の販売と、船橋市スポーツと健康を推進する会がポップコーンとわたあめ、それと、金杉台団地の中にリアン（LE LiEN）という、障害の方の団体さんが運営しているパン屋に出店をしていただいて、パンとラスクを販売しました。特にパンは、人気がありまして、午前中に完売するぐらいの勢いでございました。とても皆さん喜んでおりました。

次に、「高根・金杉地区秋まつり」になります。こちらは、高根・金杉地区自治会連合会との共催です。好天に恵まれまして、若者の参加も目立ちました。お祭りの要素も盛り込んでおりました、和太鼓の野外演奏や、最後に校庭で全員で盆踊りを踊って、世代間交流ができたと思います。

次に、「ふれあい福祉まつり」でございます。こちらは、高根・金杉地区社会福祉協議会との共催事業でございます。来場者も、去年は405人でしたが、今年はやや減少して366人でした。少なくなりましたが、今年のボランティアは、船橋の二和高校の学生さんと御滝中学校の学生さん、約50名のボランティアが集まりまして、主に模擬店の裏方で活躍していただきました。今回の着ぐるみは、汗一平くん、風さやかさん、けんけつちゃんという3体の着ぐるみに出ただきまして、こちらも皆さん写真を撮ったりして好評でございました。事業PR、展示につきましても、充実した内容で行えたと思います。

次の「太鼓コンサート『鼓粋～高根太鼓祭～』」でございます。高根公民館の太鼓サークルに出演していただき、毎年開催しているものでございます。今年度も3団体参加していただきました。

高根公民館からは、以上でございます。

○今野会長

どうもありがとうございました。

次に、新高根公民館、お願いいたします。

○新高根公民館長

新高根公民館の9月18日～12月17日の事業報告についてご説明をさせていただきます。

まず、成人対象の「就学時健診等における子育て学習」は、高根東小、芝山東小、芝山西小の3校で実施をいたしました。スクールカウンセラーと元校長の講師をお願いをいたしました。どちらの講師からも、コミュニケーションの大切さを中心にお話しいただきました。子供の言葉や様子から、どのような気持ちかを感じ取り、また共有することで、喜びは大きく、不安解消へのヒントを見つけることができるということでございました。アンケート結果でも、ほとんどの保護者が、「参考になった」と回答しておりました、家庭教育の一助になったのではないかと考えております。

次の「ゆらりハイク『晩秋の新川を訪ねて』」、こちらは船橋市スポーツと健康を推進する会中部コミュニティとの共催により実施をいたしました。集合場所を八千代緑が丘駅、そこからゴール地点の京成大和田駅まで、約8キロのコースにて実施をいたしました。ウォー

キングには少し暑いくらいの天候に恵まれまして、また参加者同士の会話も弾み、健康増進や親睦を図ることができました。

最後に、高齢者対象、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」です。こちらは、10月が飯山満公民館、11月と12月が高根台公民館を会場に実施をいたしました。

新高根公民館は以上でございます。

○今野委員長

どうもありがとうございました。

各公民館、福祉まつりとか、公民館まつりとか、いろいろな行事がございましたが、何か、ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

まず、高根台公民館からお願いします。

○松本委員

ハワイアンフェスティバルですが、8団体というのは、こんなにハワイアンだけであるのですか。

○高根台公民館長

コロナ前はもう少し団体数が多かったです。去年が7団体で、今年が8団体になりました。お客さんの数も多く、皆さんお目当ての方を見に来ており、歓声が上がってすごかったです。

○松本委員

お互いに交流もあって、演奏と踊りがあって、とてもいいと思います。こんなにたくさんあるとは思いませんでした。

○高根台公民館長

高根台だけではなくて、船橋全域のサークルが来ています。

○則松委員

ほかの公民館の団体が参加していらっしゃるんですか。

○高根台公民館長

参加しています。

○松本委員

それはいいことですね。

○中澤委員

海岸の災害ということで、それぞれのところで注視していかなければいけないのですが、高台に住む自分たちはどうかなと思いました。でも、ターゲットを、釣りに行く人などに声をかけるとか。非常に重要なんですよ。沿岸の釣りとか、船で釣りをしている人はたくさんおられると思う。こんなに少ないわけがないですよ。こういうことに果敢にチャレンジしていただいていることは、将来、ターゲットを絞って募集していけば、本当にいいことだと思っております。海での防災をどう進めるか。逆にこちらでは気がつかないことです。

その次の、リカレント。これも非常にチャレンジする講座だと思いましたが、これは中止になったんですか。

○高根台公民館長

はい。広報にも載せましたが、それでも集まらない。リカレントという言葉になじみがない、難しい気がします。

○中澤委員

人生の繰り返しという意味で捉えればいいのでしょうかけれども、いわゆる繰り返しだけの意味だと、ちょっと難しい感じもしないでもない。自分の人生の生きがいを感じ取る。今までの自分の人生を経験して、それを生かして、またつないでいく。非常に難しいテーマです。生きがい福祉事業団の人をもっと呼んでくればよかった。難しいテーマですけれども、ぜひ続けていってほしいと思います。

○高根台公民館長

ありがとうございます。

まず、防災の件に関しては、対象を絞って、そこに周知していくことが大切だと思います。その辺も考えていきたいと思います。

リカレントに関しては、どうしても「リカレント」という言葉が難しいです。日本語に直していくと、生涯学習とどう違うのか、これも難しい。仕事をして、仕事をリタイアされて、その後に勉強をして、さらに仕事をする。仕事、勉強、仕事をリカレントといますが、それを公民館で、例えば3日の講座では、なかなか難しいところがあります。実際やるとしたら、職業訓練校のようなところになってしまうかと思うので、公民館でやるとしたら、「リカレントとはこういうことです」、一番初期段階に火をつける感じがいいのかと考えています、また次回以降考えたいと思います。

○中澤委員

自分のこの後の生きがいを一緒になってやる、交わるということでやれば、みんな自分が一番偉いと思っているから、教え方なんですよ。そこをもっとうまくやっていただくと、非常にいいことだと思います。

○則松委員

子供たちに対する職業の講演会、本当は学校で細かくやっていくといいんでしょうけれども、公民館の公共の広い雰囲気の中で子供たちが集まって受けてくれると、本当に子供たちは喜ぶのではないかと、いつもこれを見るときうれしくなります。公民館で若いこれからの子供たちに示していただいていることは、とてもいいことだなと思っています。

これは、144人ということは、学校に行ってなさっているんですか。

○高根台公民館長

そうです。こちらは、高根台中の2年生に対してです。

○則松委員

公民館が学校に出向くわけですね。

○高根台公民館長

公民館で様々な職業の方にお声がけします。10の職種の方にお声がけし、賛同していただ

きまして、当日その方々に学校に行っていただきます。中学校2年生が144人おきまして、その方々を5つの教室に分けまして、Aという方のお話を聞いたら、次はBという方のお話と、4つの職種の方を皆さん聞けるようになっております。職種を選ぶときに、なるべく地域で活躍されている方を中心に選んでおりますので、皆さん、身近な方で、同じ職種ではなく、変わったところで、ドローンインストラクターの方をお呼びしたりしています。

○則松委員

大木無線さんも、私たちの先輩のお子さんがしているんですよ。こういう身近な方がまちの中でお仕事をされていて、子供たちに話をしてくださる。公民館ですごくいい選び方をしているらっしゃると、いつも感心して見えています。お年寄りも大事ですけれども、若い子も大事ですから、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。

○小原委員

今、話に出た中学校でやられている職業の講演会ですけれども、中学校2年生のキャリア教育で必ず学びとして入っているのですが、学校では、講師の方の当てをつけるのが大変でした。保護者の方でいろんな職業の方がいますから、やってくれるという人がいればお願ひしやすいのですが、いろんな職業を集めたいときに、学校だけの力ではいろんな講師を呼びづらいなので、その窓口として公民館が力を貸していただけるのは、本当にありがたいことだと思ひています。

実は中学校に上がる前、小学校の6年生もこれより規模を小さくした形で実際はやっているんで、そこにもぜひ力を貸していただけるとありがたいことです。

○則松委員

女性の方でも看護師さんとか、そういう方のお話を伺ったら、うれしいかなと思ひます。私たちが把握していませんから。

○高根台公民館長

東船橋病院の看護師さんも、本当に近くの方で。

○則松委員

そうですね。それは本当に素晴らしいですね。

○高根台公民館長

昨年から、これだけの規模になりまして、その前は、3ぐらいの職種を二学年全員の前でお話していました。去年から、10の職種を集めることになって、幕張のコンベンションセンターみたいにしました。

○小原委員

屋台村みたいな。

○高根台公民館長

そうです。そうすると結構好評でした。前は体育館を使いまして、今回も体育館と教室でと思ひましたが、体育館ですと、パソコンで映像を流すのにプロジェクターがたくさん必要になりますので、だったら教室は今電子黒板がございますので、これを活用しようと、今

回は全部教室で行いました。

○則松委員

そのほうが、子供が受けやすいかもしれません。

○今野委員長

では、高根台公民館はよろしいでしょうか。

○中澤委員

福祉フェスティバルで、ジェッツの講演があります。テーマが、いわゆる運営組織のことで重かったと。せっかくジェッツの人を呼んで、1,000人以上の人が集まっている。これは運動とかはやらなかったんですか。

○高根台公民館長

やらなかったです。ジェッツの方も、現役の選手であれば、皆さんワッと来た可能性があります。ポスターなどは富樫選手や渡邊選手のを貼って、でも来られた方は初代のキャプテンの方でした。今のジェッツは人気がありますが、その初代の方がご苦労されて、弱小チームからどんどん今に持っていきました。お話は非常に面白かったのですけれども、内容的に、子供たちを対象に考えていたのとずれてしまったところがございます、対象を考えたほうがよかったかなと。

○中澤委員

去年は、「笑顔とありがとうがあふれる町を」というテーマでやられていたけれども、今年はどういうテーマでしたか。

○高根台公民館長

今年も同じテーマです。ただ、高齢者の方を対象ではなく、若い人たちを呼んでみたいと、ちょっと挑戦的なところがあって、またやり方を変えることによって、今後よくなっていくと思っております。

○中澤委員

ありがとうございます。

○今野委員長

ありがとうございました。

では、夏見公民館のことで何かご質問、ご意見がありましたら、お願いします。

○小原委員

福祉まつり等で、小学校の吹奏楽部の演奏に参加させていただきました。学校では部活として今活動しているのですけれども、発表の場や地域の方に見てもらう場が少ないので、こういった場に呼んでいただいて、地域の方に聞いていただくと子供たちにとっても、とても励みになりますので、このような機会を提供していただき、本当にありがたいです。

また同じように、いろんな作品を飾らせていただいています。校内でも作品展はやりますが、これは保護者の方に限定して、期間を決めて見ていただいています。公民館を展示場所にさせていただくことで、地域の方も見ていただけます。子供たちはこんな作品をつくって

いると知ってもらえるいい機会になりますので、ぜひ、来年度以降も参加させていただければと思います。よろしく願いいたします。

○松本委員

公民館と夏見台小学校は遠くて、なかなか参加できなかったんです。今回オール夏見ということで、演奏もすごくすてきでよかったですと思います。

それから、介護施設の団体の方もいらしてくださって、そこに来れない人は絵を描いたり文章を書いたりしたものを展示していただいたので、夏見全体の人たちが参加する会になって、とてもいいことだと思っています。ありがとうございます。

○中澤委員

いつも夏見公民館の事業報告を見るのが楽しみですけれども、本当に大人から子供まで、公民館として多岐にわたった事業の進め方は、素晴らしいと感じております。町探検も千葉の海辺も。こういう体験、それから家庭教育セミナー。本当にきめ細かな事業運営の内容で、公民館の素晴らしい企画力といいますか。見るとみんな素晴らしいですよ。

○則松委員

公民館と学校が近いからですかね。

○夏見公民館長

それもあります、夏見は地域力のポテンシャルはものすごく高いと思います。ただ、それぞれ活動されていたところが個々で継続されるのが、コロナもそうですけれども、いろんな状況が重なってだんだん難しくなっています。だったら、一緒に手をつなげば、もっといいものができるのではないかという声かけをさせていただいたり、逆に声をかけていただいたりもあるので、その機を逃さずに努めております。趣旨、意図を酌んでいただけることは本当にうれしく思いますので、スタッフに伝えたいと思います。とても喜ぶと思います。

○中澤委員

ただ、残念なのはシネマ。これだけたくさんの方が観に来て楽しみにしているのに、先行きが不安というのは、何とか違う方向で維持、管理できるように。貴重な映画ばかりですから。

○夏見公民館長

一番いいのは、市のいずれかの部署で、もしくは形を変えてでも、貸出しをする仕組みを継続してくれればよろしいのですけれども。

もともとが視聴覚センターのライブラリーで、視聴覚センターが閉じたことによって市民大学校が所管をして、その市民大学校も今、委託で行うようになってきたという流れの中で、恐らく利用の頻度であったり、また考え方も、スマホやいろいろなもので簡単に観れるのもあると思いますが、毎回の実績を見ていただければ、ここに来ることを楽しみにされている方がいますので、こういう場所があってもいいという思いはございます。

○長濱委員

集客力も70名とか53名とか、多く来られているので、これに代わる何かを考えないと、

せっかくこれだけ皆さん集まられているので。

○中澤委員

公民館全体で何とかできるように、高根台に頑張ってもらって。

○高根台公民館長

高根台も、婦人学級やゆりの木大学で、映画は同じく借りていますので、借りられなくなると、著作権の関係で1本8万円となってしまいますので、何とかしなければという思いがあります。

○中澤委員

これは市に陳情しないといけないですね。

○則松委員

成人の事業の「ひまわり幼稚園母の会家庭教育セミナー」で、マオビクスって何だろうと思って聞いたら、優木まおみさんが一生懸命つくった体操で、若いお母さん方に人気なわけですね。

○夏見公民館長

若いお母様方が企画でいろいろとアイデアを出されているのは、こういうところにも表れています。

○則松委員

そうなんだね。やっぱり若い人も頑張ってもらわないと。

○丹羽副委員長

夏見公民館の盛況などところには、PTAのお力も多いと思うんですよ。市内でも見渡すとPTAが消滅している地区も多いんですね。あるいは今、PTAがあっても世の中の流れで、PTAはどうなんだろうと、先ほど学校運営協議会があったものですから、その中でそういう質問を投げかけてくるPTA会員の方もいらっしゃるんですよ。それをほねのけていらっしゃるといのは、何か理由は思いつきますか。

○夏見公民館長

顔が見える関係を徹底していることかと思います。まさに長濱様の船中のPTAにも関係して、部活をいろいろと尽力をされて来られている方がいらっしゃって、そこから逆に、現役のPTAの会長であったり、いろいろ関係する方々と気軽に話をしたり、いろんな話題を話す機会は設け積極的に情報交換をするようにしています。

それで、何かあれば、気軽に相談していただける窓口として、行政の一番最先端の場所だと、その役割の中でできることは、我々は情報を伝えることと、人と人、団体と団体をつなげるのも我々の役割ではないか。ほかの、横の広がりにつながるような人たちを、一緒にイベントに参加していただいたりつなげたりして広がりを持たせることで、それぞれの団体の存在意義みたいなものを高めていただけるような支援はさせていただいていると思います。

○丹羽副委員長

母数が多いというのがありますか。

○夏見公民館長

ありますね。

○丹羽副委員長

児童数が多い、家庭数が多いというか。

○夏見公民館長

ただ、それだけではないですね。お父さんの会であったり、部活の関係、また地域の見守りであったり、ボランティアのいろんな方々の活動が盛んです。いろんなものに関わっている人たちが、いろんな団体ごとにいらっしゃる。それがほかの分野でも顔を合わす機会がある。そういうことが大きいと感じています。

本当に週に1回、2回は、そういった方々が必ず何かで顔を出されたり、お話をしたり、気軽にできる環境になったのが、本当に喜ばしいことだと思います。

○長濱委員

コロナ禍で4年間ぐらい活動が止まってしまいました。それを立ち上げるときに、人のつながりがないと立ち上がっていかない。今回の公民館の宿泊も、本当に昔から、宿泊ではなくても、夜にキャンプファイヤーをやったり、飯ごう炊さんをしたり、そういう活動は大昔もやってきて、それが脈々と続いて、その中でお父さんのグループができて、その人たちが中心になって、公民館が協力いただいて、また学校が協力をいただいてと、3つがうまく回った。コロナ明けにまだそういう力が残っていて、また再度復活しようという、このパワーがすごいなと思います。これは公民館、学校、あとは地域の方々の力かなと思います。

○丹羽副委員長

何かきっとそこにヒントがあるんでしょうね。本当に散り散りばらばらになっているのが実情だと思うので、まずご自身の生活になかなか余裕がないのが、学校の先生が肌で感じていることなので、何かヒントがあればと思います。

○今野委員長

夏見公民館はよろしいですか。

次に、高根公民館の事業について。

○中澤委員

「青少年向け卓球開放」が1、0、0で、これは土曜日でちょうどできる時間帯ですが、たまたまこういう数字になったんですか。

○高根公民館長

青少年卓球につきましては、小学校が土曜日、お休みの日だったら来やすいだろうと毎年開催しているのですが、習い事が非常に多いことを学校の先生や地域のPTAの方からお話を伺っております。卓球が7サークルございますので、毎年5月に、輪番制で卓球サークルの方に講師をしていただいて、子供向けの卓球教室を開催しています。卓球教室になると、何名か試合ができるぐらいには集まります。ただ、それ1回限りで、その後、「青少年向け卓球開放」で3時間開放すると集まらない。この1というのも、親子で来て、「2人でいい

ですか。やらせてください」ということでした。習い事が多くなっているのが現状かなと。

○則松委員

地域の問題があると思います。緑台の団地から行くには、坂道を下りていくでしょう。暗くなってから子供は出せませんよね。大人も行くのは怖いです。また、反対に四つ辻の金杉のほうからも下りてくるのは大変でしょう。

○高根公民館長

立地の問題というのも確かにございます。

○丹羽副委員長

時間的にはありますか。

○高根公民館長

時間は3時から6時までの3時間です。

○丹羽副委員長

4時半ぐらいから暗くなるじゃないですか。今、則松委員がおっしゃったとおり、そういう子供たちが動く時間は関係あるのでしょうか。

○則松委員

その時間に塾に行くんですかね。

○丹羽副委員長

動いている子たちは、動いているんですよ。

○中澤委員

もったいないよね。

○丹羽副委員長

そうなんです。もったいないですよ。

○高根公民館長

チラシ配布だけではなくて、もっとほかに集客の方法がないかと、毎年、毎回、検討はしているのですが、職員の中で話をして、迎えにいくわけにはいきませんし、学区から自転車であまり出はいけないような感じです。金杉台とか金杉小は、金杉小のほうに近いんですけど。

○則松委員

道が危ないからね。

○高根公民館長

道が狭いんですね。30キロの道路でもスピードを出して走っていて、結構危ないという話も聞いていて、それで親御さんがなかなか外に出さないのか。

○丹羽副委員長

青少年というと、やはり小中を対象という感じですか。

○高根公民館長

18歳未満です。高校生も。

○丹羽副委員長

かなり幅が広いということですね。

○高根公民館長

はい。青少年ですので、18歳未満でしたらどなたでもということで開催しておりますので、小学生に限ってということではないのですが。

あとは、高根中と御滝中は大きい学校ですが、卓球部がありません。そのために少しでも卓球を、テレビなどでも人気が上がってきていますので、小学生からやっていただいて、プロを目指すことではありませんが、少しでも子供たちに卓球はこういう面白いものだよと、スポーツですので、教えたほうが良いということで開催しております。

○小原委員

4時のチャイムが鳴るじゃないですか。小学生だと、あれはお家で聞きましょう、それまでに家に帰りましょうと指導の中でやります。あまり遅い時間だと、子供だけでいることが難しくなります。

○高根公民館長

分かりました。ありがとうございます。

○則松委員

変な事件が起きていますものね。突然刺されたり、お母さんたちも用心しますね。

○丹羽副委員長

高校には、こういうものは出しているのですか。

○高根公民館長

高校はチラシも配布しておりませんし、声もかけてはおりません。

○丹羽副委員長

東高校にそういう需要があるかどうか、伺ってみることにします。

○高根公民館長

ありがとうございます。よろしく願いいたします。

○丹羽副委員長

もったいないですものね。

○中澤委員

高齢者のほうは、女性の方がなかなか活発に動いていますね。高根寿大学を見ると、詩吟は22名も来ている。

○高根公民館長

高根の寿大学は8割近く女性です。男性の方は、毎年、登録は少なくて、地域の特性ではないと思いますが、旦那さんはみんな家にいるというか。

○中澤委員

そうです。新高根もそうですよ。何しているんだろうなと思いますね。

○今野委員長

高根公民館はよろしいですか。

次に、新高根公民館の事業について何か。

○松本委員

工事が遅れているお話でしたが、いつから使えるんですか。

○新高根公民館長

4月からです。4月1日からです。

○中澤委員

3月から使えるはずだったのが、延びてしまったんだね。

○今野委員長

広報にも延びると出ていました。

○新高根公民館長

4月1日を目指しております。

○中澤委員

館長はやる気満々なんですけどね。

○新高根公民館長

そうです。3月とばかり思っておりました。

○今野委員長

では、出来上がることを待つということで、よろしいでしょうか。

それでは事業計画について、高根台公民館、お願いします。

○高根台公民館長

高根台公民館です。令和6年12月18日から令和7年3月31日までの事業計画について、主なものをご説明いたします。

まずは、青少年事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」は、1月、2月、3月と、ご覧のとおり計画しております。特に、3月1日のたかね台子どもまつりは、今野委員長が会長を務める青少年の環境を良くする市民の会や、高根台団地自治会、ボーイスカウト、スポーツ健康推進委員会など、多くの地域団体とつくり上げていくもので、今月21日に第2回準備会を予定しております。

次に、「新春子ども凧あげ大会」です。事業報告でご説明した「親子和凧づくり教室」でつくった和凧を実際に揚げます。高根台第三小学校で行いますが、天気だけが心配です。

次に、「歴史講座」です。今回は、座学で学んだ後、実際にその場所を散策していただきます。寒い時期なので、暖かい格好で参加していただければと思っております。

続いて、高齢者事業の「ゆりの木大学」です。後半の4回は、リハビリ体操、落語、健康講話、それとチョコレートの話と、バラエティーに富んだ内容となっております。次に「初心者向けスマホ講座」です。11月に、触るのが初めての方の入門編を行いましたが、今回はLINEとキャッシュレス決済の実践編を交えて行います。

続きまして、女性事業の「高根台婦人学級」です。昔の思い出を語り合う回想法、腹話術

とマジックの新年懇親会、それと在宅医療の講座に太鼓演奏と、運営委員が選んだ趣向を凝らしたラインナップとなっております。

続いて、中部地区公民館4館の事業担当者が考えた合同事業です。去年は、小学生を対象にドローン体験を行い大変好評でした。今年は、全く趣向を変えた新しい試み、高根台公民館にロックが鳴り響きます。高根台ミュージックフェスでは、9組のバンドが出場、そのうち7組は高校生というフレッシュな出演者が熱い思いを演奏にぶつけます。皆さんもぜひ見に来ていただけたらと思います。

「子育て講座『にこにこワイワイ子育てキャンパス』」では、昨年、障害のある青少年自立支援事業において、マリンバ演奏で特別支援学校の生徒さんを盛り上げてくれた宮野下リュウ氏をお招きし、親子が楽しめる演奏をお願いしました。

次の「ボランティア講座」ですが、「地震だ そのときあなたはどうする」になります。今年度は、能登半島地震の応援に行った内容を交え、地震が起きたときの対応を学んでいきます。

最後に、「公民館報『たかね台』発行」ですが、2月は子どもまつり特集号となります。

高根台公民館からは以上となります。

○今野委員長

ありがとうございました。

次に夏見公民館、お願いします。

○夏見公民館長

それでは、12月18日から3月31日までの事業計画をお伝えいたします。

まず、青少年事業の「ふなばしハッピーサタデー」ですが、12月は、クリスマス会ということで、マジックプレートでクリスマスのオーナメントをつくりまして、講堂の大きなクリスマスツリーに皆で飾りつけを行い、お昼からシネマなつみにてクリスマス映画の上映を行うのですが、それに先立ちまして、夏見在住のプロギタリストのご主人様、オカリナ奏者の奥様、柳町ご夫妻をお迎えしまして、クリスマスのミニコンサートも開催いたします。世代を超えて皆でクリスマスを楽しむ一日になるのではないかと思います。

2月は、夏見児童ホームとの共催により、公民館を会場としまして、子どもまつりを今年も計画しております。各団体から協力を得て、多くのお子さんたちが訪れることと思います。

3月は、当初11月に予定した夏見在住のソプラニストの方による「親子で歌を楽しもう！」と、ボーイスカウトが指導する毎年恒例の子ども工作会を実施します。「親子で歌を楽しもう！」は、実施に必要な著作権や、いろいろな手続きが思いのほか煩雑だということで、講師からも延期をしてくれないかと申出がありましたので、3月8日、9日で、3月のハピサタを行います。

蛇足なのですが、ボーイスカウトが翌日に竹やぶから竹を切り出して竹鉄砲をつくるのですが、実は、ソプラニストの方のご主人様がそのボーイスカウトの活動をずっと支えていらっしゃる方ということで、こういったところにも地域のつながりを感じます。

次に、成人事業の「座 よさこいエクササイズ」になります。こちらは1月から3月まで毎年恒例で全6回開催しておりますが、「座ったままでも鳴子を持てば皆が踊り手」を合い言葉に、よさこい集団を率いて、数々の賞も受賞されている講師が生み出したエクササイズになります。今年も早々に定員を超える応募があり、現在、キャンセル待ちの受付が終わった状況になっています。講師の方は、健康づくりへの理論的な造詣が大変深く、体力に合わせて無理なく楽しむ指導にも長けていらっしゃいますので、お人柄と併せて参加者から大変人気のある講座になっております。

次に、成人向け事業の「門前仲町ぶらりまち歩き」になります。魅力あるアクセスが容易なエリアを選定しまして、本格的なガイドが案内するミニツアーとして、昨年も好評いただきました夏見歴史散歩なのですが、昨年の両国と同様に、本市と古くから街道でつながって、本市と同様に伊能忠敬の足跡があって、江戸風情も残っている門前仲町のかいおいを江東区観光協会の方にご案内いただきます。参加者がまち歩きで心身をリフレッシュして、船橋とのつながりを知って、知的好奇心を満たしていただければと思っております。

「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」につきましては、既出のため、割愛いたします。

次に、「夏見寿大学」に移ります。高齢者事業です。1月は「出張郷土資料館」と題しまして、同館が長年開催しております「くらしの道具展」に着目しまして、今年も考古職員の方に注目するテーマを語っていただく予定です。今回は、船橋と房総の食文化を中心にお話をいただこうと思っております。

2月は、クリスマスでも演奏をご披露いただきます柳町様に、フォルクローレであったり、クラシックの名曲、オリジナルアレンジの懐かしいポップスの曲をご披露いただきます。

3月は、こちらにも継続の要望が非常に多い立川流真打、立川談修師匠による夏見落語会を今年も行います。

「初心者向けスマホ教室」につきましては、詳細は割愛いたしますが、今回の回は、ソフトバンクではなく、ジェイコムが今年もCSR事業として実施します。また、市民大学校修了者によるスマホコンシェルジュのボランティアの方が各回1名ずつお手伝いに名のりを上げていただいています。

次に、「シネマなつみ」です。12月から3月も、ひねりを利かせた作品を選んで、また、名画もいろいろなテーマを掲げ、上映いたします。今回も多くの方々が訪れていただけるものと思います。

次に、「第29回ふなばし音楽フェスティバル 夏見地区地域ふれあいコンサート」に移ります。今年も音楽を愛する方々が大変多い夏見地区のご期待に応えるべく、音楽の世界で研さんを積んで活躍し、地域にゆかりのあるアーティストの方々をお呼びします。今回は、フルートを中心とした木管楽器のアンサンブルトリオをお招きします。フルート三重奏を中心に、ピッコロやオカリナなども交えまして、クラシックや歌劇、昭和歌謡や唱歌など、幅広い名曲をご披露いただきます。

次に、「地区社会福祉協議会中部ブロック合同会議講習会」についてお伝えします。こち

らは、中部ブロック内4か所の地区社会福祉協議会の事務局が中心になりまして、地域福祉課、市の社会福祉協議会、各事業ボランティアリーダー及び当館が参加するブロック会議におきまして、毎年、研修会を実施しております。今回、事務局から、防災を軸とした地区社協と公民館のつながりを考えるというテーマで講話をお願いされましたので、危機管理課や災害派遣医療チームでの経験も踏まえつつ、あくまで公民館長として、地域の方々とのつながり、その中で地区社協が果たすべき役割について、過去の事例を挙げながらお話をしてみたいと思っております。そして、ディスカッションも行いますので、この中でも顔が見える関係を構築してまいるつもりです。

続きまして、「学習フリースペース・空き部屋開放事業」につきましては、既出のため、割愛いたします。

また、「公民館報『なつみ』発行」につきましても、同様に既出のため、割愛させていただきます。

夏見公民館からは以上になります。

○今野委員長

ありがとうございました。

次に、高根公民館、お願いします。

○高根公民館長

高根公民館です。12月18日から3月31日までの事業計画をご説明いたします。

初めに、「ふなばしハッピーサタデー事業」は、あと4回実施いたします。12月のエンジョイクリスマスは、部屋を黒マルチを使い迷路のようにして、クイズを解きながら脱出するものです。こちらは金杉台児童ホームで行います。

次に、「青少年向け卓球開放」と「空き部屋開放事業」は、引き続き、お手元の資料のとおり、記載の日程で行います。

続きまして、「昔あそび体験交流学習」になります。こちらは、昨年と同様、中部ブロックのコーディネーターの方々に講師をお願いして、高根小学校の1・2年生を対象に、子どもたちに昔遊びを教えます。駒、めんこ等、昔の遊びを体験していただく予定になっております。

なお、今年度は、高根小学校は創立140周年記念の行事がございます関係で、本来、2月に行っていたのですが、今月の12月に変更いたしました。

続きまして、「第45回たかねこどもまつり」です。こちらは、今年度も金杉台児童ホームにて行う予定です。こちらは、先ほどの高根台公民館と同じ、マリンバの演奏者の宮野下シリウさんを招きまして、演奏や工作などを行う予定になっております。

続きまして、成人向け講座になります。「一般向け卓球開放」は記載のとおりでございます。

「高根公民館本館家庭教育セミナー」になります。「親子で和食を作ろう！」と題しまして、調理師の横山さんを招き、だしを使った料理をつくります。具体的には、親子丼、野菜

のお浸し等をつくる予定になっております。

次に、今回初めて開催いたします「ウクライナ料理講座」になります。講師は、日本ウクライナ友好協会のナタリアさんと、東京の三鷹にありますウクライナカフェ料理長のロマンさんをお呼びいたしまして、トマトソースのピーマン肉詰め、デルヌィサワークリーム、ビーツとプラムのサラダの3品をつくる予定になっております。

続きまして、高齢者向け講座になります。「高根寿大学」は、あと3回実施いたします。1月は、恒例の新春落語鑑賞会で、高根中出身の立川談修さんをお呼びしてまいります。

次に、「認知症予防講座『楽しい脳トレ・簡単体操』」になります。東京体育機器の指導員を講師にお招きし、1回目は認知症についての講話、2回目はリラックス体操と脳トレなど、3回目は転倒予防運動、最後に栄養のお話の全4回、開催予定となっております。

次の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、記載のとおりでございます。

その他、「ふれあいサロン“ほほえみ”」は、今年度、あと3回実施いたします。

「高根虹色コンサート」ですが、今年度はジャズを予定しております。「Swinging Jazzy Honey in TAKANE」と題しまして、5名の演奏者を招いて行う予定になっております。

「高根・金杉地区皆で歩こう会」は、詳細は現在未定でございます。昨年、一昨年と2年続けて雨天のために中止になっている事業でございますので、ぜひ今年度は好天に恵まれて実施できたらと考えております。ちなみに、「高根・金杉地区皆で歩こう会」は、アンデルセン公園まで歩きまして、現地でお弁当を配付の後、解散となっております。

「公民館報『たかね』発行」につきましては、2月に今年度の最終号を配布いたします。高根公民館からは以上でございます。

○今野委員長

ありがとうございました。

それでは新高根公民館、お願いします。

○新高根公民館長

新高根公民館の休館が3月まで延びたことで、まず、実施できなくなった事業としましては、どの館でも開催予定の子どもまつりです。いつも3月に開催をしておりましたので、こちらができなくなりました。

それから、新高根公民館独自で開いている「シルバーリハビリ体操 in しんたかね」も、最後、3月に開催の予定でしたが、こちらも実施ができなくなっております。

そして、館報の発行も、3月にはオープンする内容、それから、子どもまつりの内容で発行予定でしたが、こちらもできなくなっておりますので、最初にお知らせさせていただきました。

それでは、3月31日までの事業計画について、説明させていただきます。

まず、成人対象の「デジタルデバイド対策事業」は、2月に初級者向け、3月に入門編ということで、高根台公民館にて実施をする予定でございます。

次に、高齢者対象事業の「新高根福寿大学」については、閉校式はぜひ新高根公民館でと

予定しておりましたけれども、こちらもかなわず、高根台公民館の講堂をお借りしまして、最後、ボイストレーナーの方を講師に開催する予定でございます。

最後に、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」につきましては、1月は飯山満公民館、2月と3月は高根台公民館において実施をする予定となっております。

以上です。

○今野委員長

どうもありがとうございました。

それでは、事業計画について、ご意見、ご質問をお伺いいたします。

まずは、高根台公民館からいかがでしょうか。

風揚げですけれども、お天気が悪かった場合はどうなるのでしょうか。

○高根台公民館長

日にちをずらす等どうするかは、これから考えます。

○今野委員長

そうなんです。せつかくつくられて、揚げる機会がないとやはりかわいそうだし、どうされるかなど。

○高根台公民館長

ついこの間、日曜日にちょうど凧をつくりました。皆さん、すごく絵を描いていて、「当日来る？」と聞いたら、「行く、行く」と言って楽しみにしていますので、ぜひ晴れていただきたいなと思います。

○今野委員長

ぜひ晴れることを。風も強過ぎてもまた困りますけれどもね。

○高根台公民館長

そうですね。全くなくても揚がらないでしょうしね。

○則松委員

凧日和になるようにね。

○松本委員

その他のところで、「高根台公民館本館家庭教育セミナー」ですけれども、これはどれぐらいの人を対象にしているのでしょうか。2月1日はNISAについてだから。

○高根台公民館長

小学生の保護者とそのお子さんを対象に考えています。ほかの公民館では、子どもたちを相手に、未来のお金の使い方という講座をやったことがあるのですけれども、今回はNISAについても親子で学んでいただくということで、今どういう形でやるかを明治安田生命の方と話し合っているところです。

○今野委員長

ほかにはいかがでしょうか。

それでは、夏見公民館のほうに移りたいと思います。また何かありましたら後ほどお願いいたします。では、夏見公民館はいかがでしょう。

○松本委員

座って踊るといのは、公民館の広報か何かに出ましたかしら。

○夏見公民館長

はい。

○松本委員

すぐいっぱいになりますか。

○夏見公民館長

そうですね。事前からのお問合せの方は、ちらほらいらっしゃって、それは昨年も参加された方でしたが、その方々を含めて、翌日、翌々日までには、定員を超えてキャンセル待ちの方が埋まる状況でした。

○松本委員

20人というの、やはり危ないからですか。人数が少ないけれども。

○夏見公民館長

よさこいについては、座って手を広げて鳴子を持って動いたりすることを考えると、講堂でも距離を取らなくてはいけないのが一つと、先生が目を配らせて指導することを考えたときに、20名が一番適当な数字だと相談の上で決めております。

○今野委員長

ほかにはございませんでしょうか。

○中澤委員

座ったまま踊るといことだから、健常者ではなく、障害者をターゲットにしているといふことなのですか。

○夏見公民館長

逆に言えば、ご高齢の方で、立って激しくよさこいを踊るのがなかなか難しい方でも座ってできる、例えば、ラジオ体操であったり、健康体操と同じように考えていただければと思います。

○中澤委員

分かりました。

○今野委員長

いかがでしょうか。

なければ、高根公民館の事業について。

○松本委員

会場ですけれども、いろいろなものをやるときに児童ホームを使うのは、そちらのほうが人が集まるのですか。

○高根公民館長

はい。高根公民館のハピサタの集客につきましては、児童ホームに行くとは結構集まります。ただ、金杉台児童ホームの学区は公民館とは少し違いまして、二和小学校の学区も入っていますので、金杉台小のほかに二和小の子が非常に集まるということもございます。公民館の就学時健診の学区としては、金杉小と金杉台小と高根小の3つの小学校で、二和小は含まれていないのですが、子ども向け事業ということで、児童ホームを借りて共催でやっております。

○今野委員長

ほかにはいかがでしょうか。

そうしたら、新高根公民館の事業についていかがでしょうか。

飯山満公民館と高根台公民館でやると、場所が全然違いますので、やはり人数的には違ってきますかね。

○新高根公民館長

はい。半分とまでは言いませんが、やはり少ないですね。

○今野委員長

前回のもそうなっていますか。やはり同じ方が動かれるということなののでしょうか。それがちょっと今気になりました。

○新高根公民館長

高根台は、90人ぐらい来ているのですけれども。新高根では、講堂がいっぱいになるぐらい皆さんがいらしていたので、場所が変わるとやはり行きづらいという方がいらっしゃると思います。

○今野委員長

分かりました。ありがとうございます。大変でしょうけれども、もう少しよろしく願いいたします。

○新高根公民館長

ありがとうございます。

○則松委員

春よ来いですね。地域の人もそうですよ。そう言っていますよ。

○今野委員長

では、全体を通して、何かご質問やご意見はございますか。

○中澤委員

宮野下シリュウさんとか、談修さんとか、お願いする講師が重なることはないのですか。対象者が違うから大丈夫なのかもしれないですけども、そういう傾向があるのかなと思いました。

○則松委員

お二方がやはり地域に密着しているんですね。シリュウさんも昔からね。

○高根台公民館長

やったときに大変好評であると、ではうちでもやってみようという感じになりますね。

○丹羽副委員長

子どもの頃から船橋育ちで、地域の皆さんもよく知っていらっしゃって。

○中澤委員

そういうことだね。談修さんもやっとな真打になられてね。

○丹羽副委員長

そういうのはあるみたいですね。それこそ「小さい頃から知っているのよ」と、地域の習志野台の方はおっしゃいますね。久しぶりに会えてよかったと。

○則松委員

そこで全国区にしていかないと。

○今野委員長

談修さんもそうですね。お父さんを知っているから、大人のほうでも知り合いだったりして、そんなお話を聞いたことがあります。

○則松委員

なるほど。そうなんですか。では、全国区に持っていきましょう。

○中澤委員

そうですね。みんなだね。非常に親しみを感じますね。

○丹羽副委員長

高根公民館のけん玉、駒の昔遊びですか。私の姉の子どもがお正月に遊びに来て、うちに駒とかがあるのでやらせてみたら、上手にやるんですよ。学校で地域の方に習ったと言っていました。お子さんたちはすごく勤がよくて、上手に駒やけん玉をやってくれるので、昔からの遊びを残していく、体験をさせていただけるのはすごくありがたいかなと。もちろん凧揚げもそうですし、本当に小さな遊びですけども、何かうれしい気がしましたので、ぜひ今後ともよろしくお願いします。

○高根公民館長

ありがとうございます。

○今野委員長

ほかにはございませんでしょうか。

○松本委員

高根公民館では、サークル見学会を一般公開して何人かお入りになったと言うのですけれども、ほかの館ではいかがですか。

○夏見公民館長

見学会は、サークルが逆にお受けできる体制にないということで、各サークルにお声かけをしたのですけれども、今回は実施しないということです。結局、開催するのにも、受け入れる体制がないとできないということです。残念なのですけれども。

○高根台公民館長

高根台公民館は、54のサークルでやって、入会した人はまだ把握できてませんが、41人見学体験者が来ています。

○松本委員

これからやっていくテーマでしょうか。どうですかね。駄目ですかね。

○今野委員長

サークル見学会ということですね。

○高根台公民館長

継続してやっていきたいと思っております。

○今野委員長

では、徐々に検討していただくということで。

○松本委員

そうですね。入ってくださった方が4名もいらっしゃるのだから、貴重ですね。

○今野委員長

それでは、ほかにご意見、ご質問がなければ、各公民館からの活動報告と事業計画について、ご承認いただけるものとしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○今野委員長

ありがとうございます。では、事業計画も承認いたしました。

以上で本日の議題は終了いたしました。報告事項がありましたらよろしくお願いいたします。

○事務局（高根台公民館長補佐）

来年の3月の公運審で今年度終了となります。次年度、令和7年度の会議日程表の案を皆様にお配りしています。第3水曜日の午後1時半から3時で、場所は高根台公民館のこの部屋となります。特にご都合等、問題なければ、この日程で進めさせていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

○今野委員長

よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○事務局（高根台公民館長補佐）

ありがとうございます。この日程で来年度は進めさせていただきたいと思います。よろしく願いをいたします。

○今野委員長

ありがとうございました。事務局、お願いいたします。

○事務局（高根台公民館長補佐）

最後に、今野委員長、議事進行をありがとうございました。委員の皆様、長時間にわたるご審議を大変ありがとうございました。

次回の委員会でございますが、来年の令和7年3月19日（水曜日）の午後1時30分から、この場所、高根台公民館4階、第4集会室で行いますので、ご出席のほうをよろしく願いいたします。

事務局からは以上となります。

○今野委員長

これもちまして、令和6年度第4回高根台公民館運営審議会を閉会といたします。ありがとうございました。

午後3時21分 閉会